

11

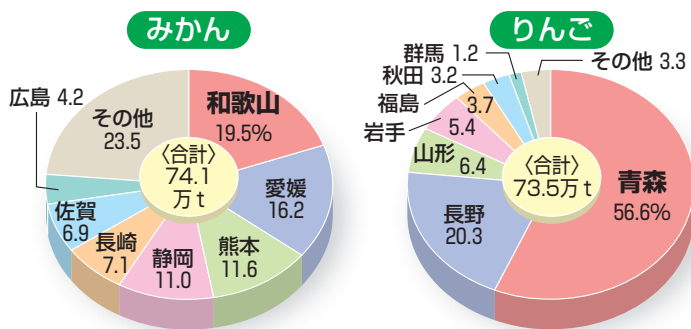
日本の農業④ —畑作・畜産ちくさん

くだものは、生産規模の拡大や機械化が難しいうえ、外国産に押され、消費量が増えているのに国内の生産量は減少しています。いっぽう畜産は、大規模経営農家が増えています。

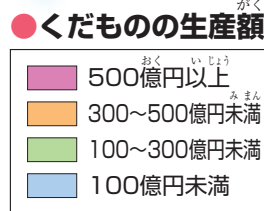
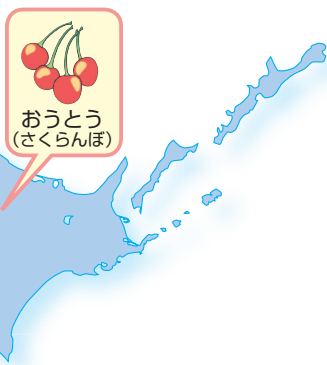
くだもの

日本の各地では、気候や地形などをうまく利用して、さまざまなくだものが生産されています。りんごやみかんのように生産量が気候に大きく左右されるものもあります。

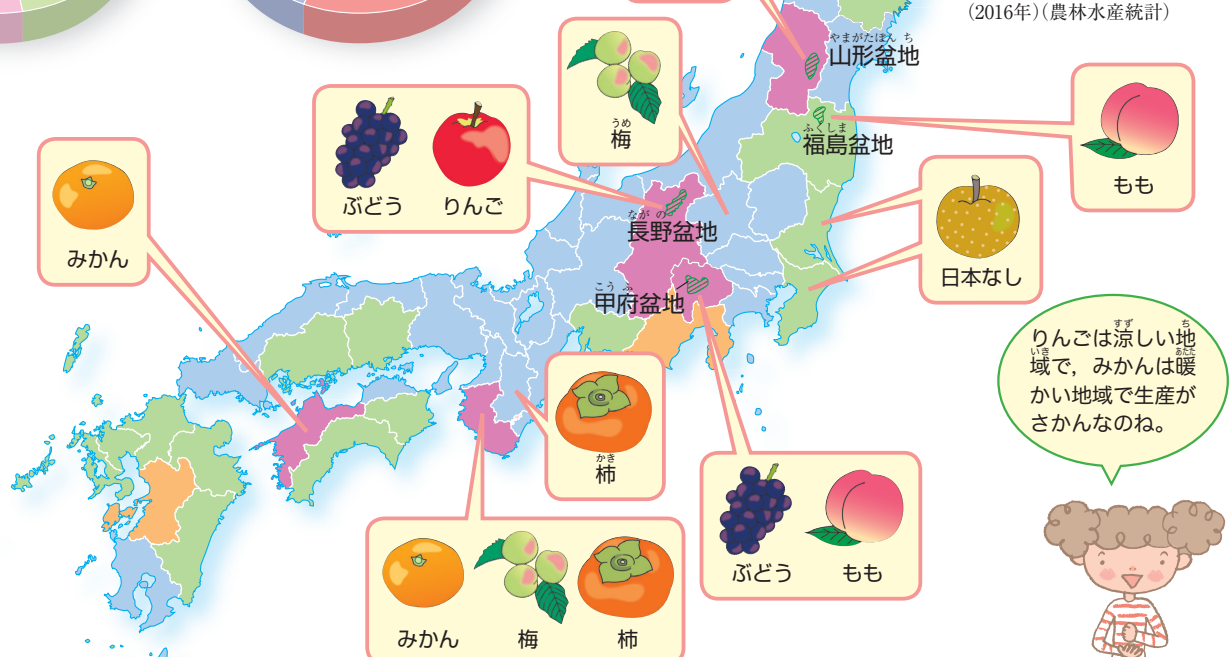
データ 主なくだもの道府県別生産量の割合



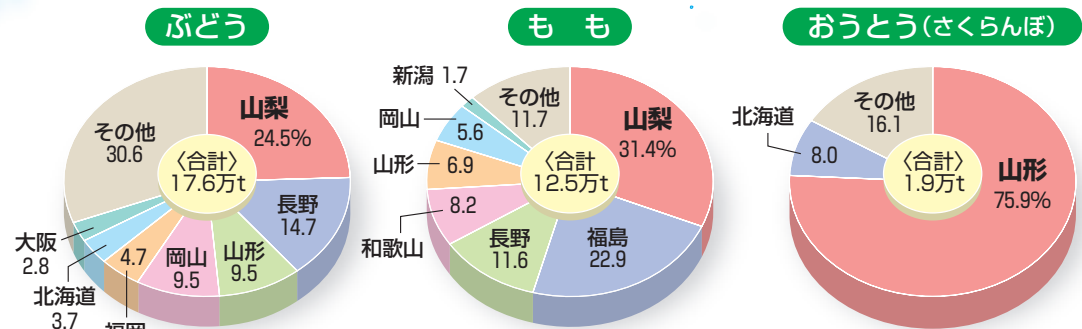
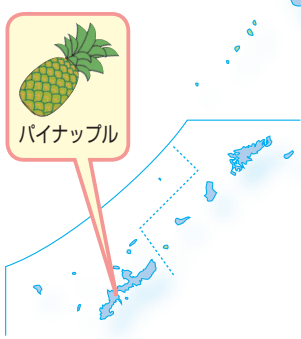
※作物ごとに、収穫量が全国の上位2位までの道県を表しています(パイナップルは沖縄県のみ)。(2015年)



(2016年) (農林水産統計)



りんごは涼しい地域で、みかんは暖かい地域で生産がさかんなのね。



(2017年) 「農林水産統計」